

## くらし 家庭

## 移動支援のヘルパーさんに感謝

ぱいぱい

幼少期の病気が原因で発達に遅れがある次男が、この春、特別支援学校高等部を卒業し、生活介護施設への通所を始めた。

在校中は放課後にデイサービスを利用していましたが、4月からは、私の仕事が終わるまで、移動支援のヘルパーさんと近所を散歩して過ごしている。

ヘルパーさんの活動は、安全をはかって同行するだけでなく優しさに満ちて

いる。次男が音楽好きと知りユーチューブで音楽を聞かせてくださる方、雨天でも気兼ねなく立ち寄れる場所を提案してくださる方——。

意思疎通に難しさのある次男とのやりとりは大変だと思う。それでも充実した時間になるよう手を尽くしてくださっている。お陰で次男も落ち着いて過ごせて

いる。

福祉の仕事は、注目を浴びることが少ないかもしれない。しかし、日々利用させてもらっている私たちにとって、なくてはならない大切なものだ。ヘルパーの皆さんの優しさに、次男も私も感謝の気持ちでいっぱいだ。

(東京都世田谷区・